農村RMO 推進フォーラム



住んでみたい・住み続けられる農山漁村づくり

北陸地域では、令和6年能登半島地震や豪雨災害をはじめとする災害の復旧・復興が進められる中、被災後の集落ケアに加え、中長期的な視点での支援として、地域活動に関わる民間団体や地域コミュニティの形成に向けた動きへの関心が高まっています。

本フォーラムでは、地域づくりに関心のある方々に、地域の復興や復興支援に取り組む方々の活動・課題を踏まえた、地域の思いを力にする枠組みづくりや地域外の人や支援の上手な受け入れ(付き合い)方について紹介します。

日時

令和7年 **12**月 **19**日(金)

開会 14:00 ~ 閉会 16:30

(先着順)

定員

会場40名/オンライン500名

都道府県・市町村の農業・福祉・社会教育・地域づくり等の関係者、JA、土地改良区、社会福祉協議会、公民館関係者、集落協定関係者その他農村RMOに興味・関心のある方

開催 形式 対面及びオンライン同時開催 (ハイブリット開催)

※オンラインはZoomまたはYouTubeで視聴可能

場所

TKPガーデンシティ PREMIUM金沢駅西口 **2階 ホール2B**



JR北陸本線 金沢駅 金沢港口(西口) 徒歩5分

IRいしかわ鉄道線 金沢駅 金沢港口(西口) 徒歩5分

北陸鉄道浅野川線 北鉄金沢駅 徒歩6分

※ご来場についてのお願い

会場には専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、 お車でお越しの場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。

開催テーマ

「地元(ここ)に住み続けるために~地域を継ぐ人々の取組・役割」

14:00~14:10	開 会 挨 拶	農林水産省 北陸農政局 次長 園田 雄二
14:10~14:50	基 調 講 演	公益社団法人 中越防災安全推進機構 研究員 石塚 直樹 氏
14:50~15:00	〈休憩・会場準備〉	
15:00~16:25	パネル ディスカッション	①登壇者 ・コーディネーター: 国立大学法人新潟大学 農学部 農学科 教授 坂田 寧代 氏 ・パ ネ リ ス ト : 北陸学院大学 社会学部 社会学科 教授 田中 純一 氏 株式会社御祓川 代表取締役 森山 奈美 氏 山古志木籠ふるさと会 直売所郷見庵 管理者 松井 智美 氏 ・アド バイ ザー : 公益社団法人 中越防災安全推進機構 研究員 石塚 直樹 氏 ②ディスカッションテーマ テーマ1:地域運営の課題と民間団体に期待すること テーマ2:小さなコミュニティから地域づくりへの広がりに向けて
16:25~16:30	事 務 連 絡	
16:30	閉会	

主催:農林水産省北陸農政局

株式会社 JTB





登壇者プロフィール

中越防災安全推進機構 研究員 石塚 直樹 氏

災害復興と地域づくりに、コーディネートと研究の両面から関わる。 2004年新潟県中越地震被災地域の20年を総括する「復興プロセス研究 会」事務局。主な共著書に『震災復興が語る農山村再生 地域づくりの本 質』(コモンズ、2012)。



講演テーマ 災害復興と地域づくり 20年が経過した2004年新潟県中越地震被災地域の復興と現在

新潟大学 農学部農学科 教授 坂田 寧代 氏

石川県立大学在職中の2006年、中越地震の調査団に参画。新潟大学に移り、山古志木籠ふるさと会に2013年に入会。2021年より山古志闘牛会の闘牛オーナー。2021、2022年度の2年間、同集落に移住。「山古志の心にふれる」を上梓。



国内調査研究に加え、台湾、キューバ、イタリアなど海外調査にも参加。金沢市能登半島地震課題検証会議座長、七尾市地域福祉推進会議専門委員会委員長等歴任。



石川県七尾市生まれ。㈱御祓川の設立に携わり、平成19年より代表取締役就任。能登の集落や企業に若者を送り込む「能登留学」を通じた課題解決支援のほか、能登地域での農村RMO立ち上げ支援も実施している。



☑ 山古志木籠ふるさと会 ^{直売所郷見庵} 松井 智美 氏

2004年の中越大震災で住んでいた村が土砂ダムにより水没。温かい支援を頂き3年後に帰村。2010年に「山古志木籠ふるさと会」が発足し、「震災復興交流館 郷見庵」が設立。山古志の自然や人がもたらす幸せを探究中。



参加申込

予約サイトからお申込みください

https://japan-gastrotourism-and-trade.com/nouson-rmo/seminar/hokuriku2025/

お申込締切 ▶▶▶ 2025年 12月12日(金)

スマートフォンピー次 元コードを読取り、また は左記URLより必要事項 を入力してください。

※定員に達し次第締切

